GANADOR

問:株式会社マツ.ショウ ☎048-935-1130 https://ganador.co.jp

Photos by 佐藤亮太 Text by 石川大輔

プレミアムに相応しい機能性とスタイリングを両立する

最高性能を備えたマフラーが アルヴェルを劇的に進化させる

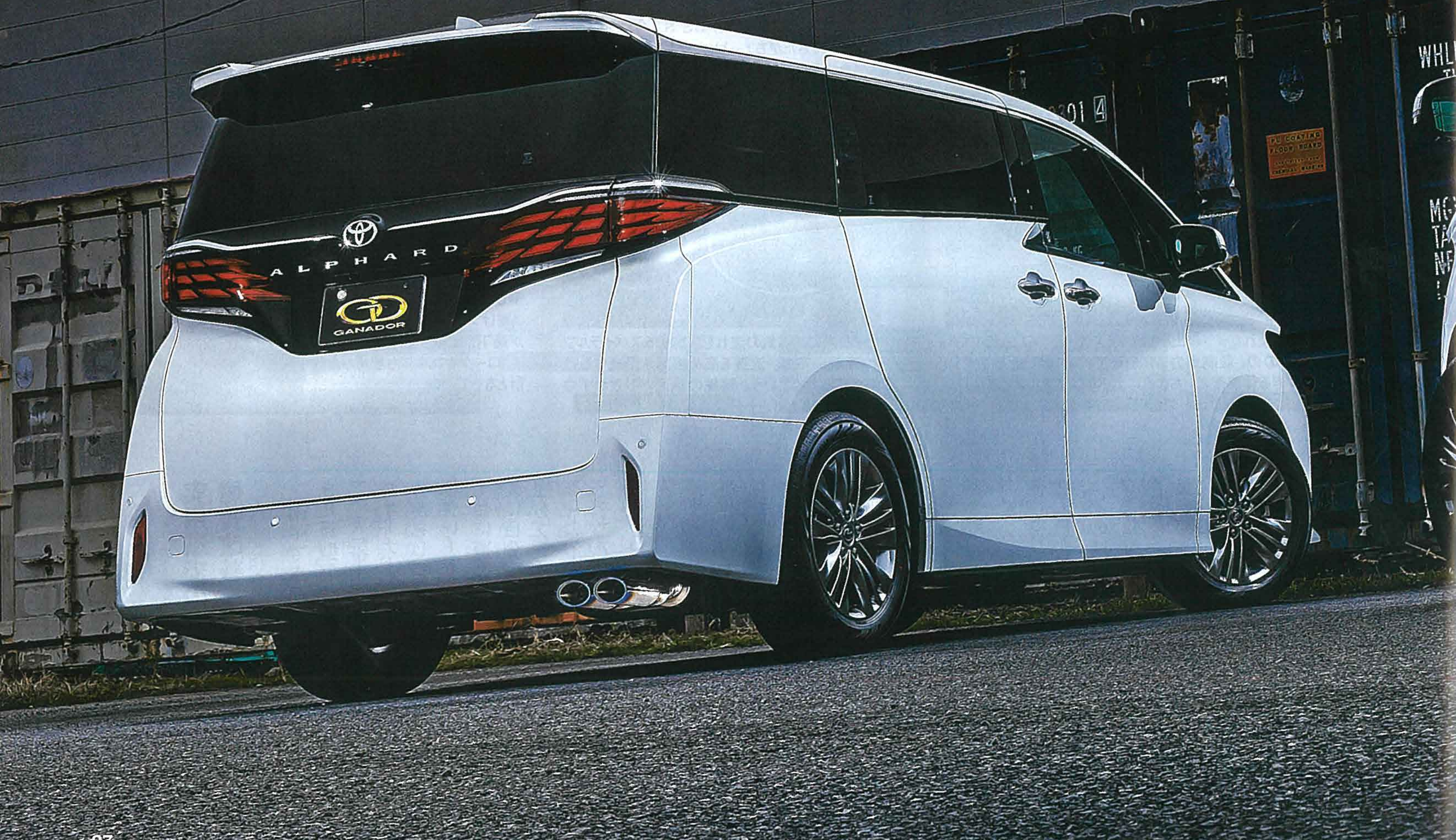
40ALPHARD×VELLFIRE

PBS.S

POWER BOOST SYSTEM.SUPER

SPORT MUFFLER

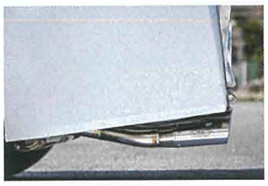
パワー&トルクアップするばかりか、燃費まで良くなるスポーツマフラーとして目の肥えたユーザーから高い人気を集めているガナドールのPBS.S（パワーブーストシステム スーパー）。ここでクローズアップする40アルヴェル用は、機能のみならずデザインやサウンドまでこだわりを凝縮した期待のニューモデルだ。



スポーツマインドを高めるビジュアルを追求

片側ダブル出しも設定アリ

コストパフォーマンスに優れたダブル出しも用意。パワーアップ効果は4本出しには及ばないものの、最高出力は9.5psアップ。最大トルク差は8.8kgf-mと十分すぎる体感度だ。ちなみにテールはダブル／4本出しともに、ポリッシュとチタニウム製ブルータイプを設定する。



バンパー下部の両サイドにデュアルテールを配することで車格に相応しい風格と存在感を実現したPBS.S。今回の試乗中、後方にアルファードが付いてきたがちょっとした優越感を感じることができた。目線が下にいくためクルマの低さが際立つような視覚的効果も期待できる。

独自のテクノロジーで進化したPBS.Sを搭載

テール内には排気の流れを制御するスパイラルフィンを組み込む。流速を高め排気を促進する効果が得られるという。熟練の職人がひとつずつ手作業で仕上げ、十分な耐久性も担保される。

サイレンサーは角が取れた丸みを帯びた形状に。パイピングはできるだけフロアに沿わせ、フランジが最下部にならないようにするなど、ローダウン車にも配慮した設計となっている。

OUTLINE

実用域でのトルクアップと燃費改善を実現した意欲作

街中でも遭遇する機会が増えてきた新型アルファード&ヴェルファイア。人気モデルゆえの宿命といえるがオーナーとしてちょっと複雑な気分かもしれない。愛車とまったく同じグレード&ボディ色のそっくりな1台に遭遇する確率も高まる。ゆえに自分好みにカスタマイズして個性をプラスしようと構想を練っているユーザーも多いのではなかろうか。

そこで注目したいのがガナドールのPBS・S(パワーブーストシステムスーパー)マフラーだ。ともあれそのデザインをご覧いただきたい。オーバル状のデュアルテールを左右に配したフォルムは、車格に相応しい存在感を与えながら、リアビューをスポーティに彩ってくれる。

しかしPBS・Sの真骨頂はデザインのみにあらず。実用域を重視した扱いやすさや燃費性能を高めるべく、テストを重ねて導き出した高効率設計こそが最大の特徴であり魅力。サイレンサー構造やパイプ径、取り回しに至るまで、理想のエキゾーストに仕上げているのだ。

その結果、3060rpm時のトルク差は9・6kgf-m、最高出力は13・7psアップを記録しているのだから、並々ならぬものがある。

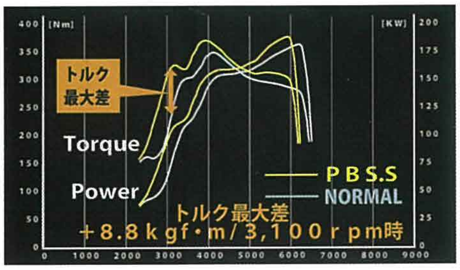
「低速トルクが出ているため無駄にアクセルを踏み込まなくてもクルマがスッと前に出ます。だからガソリンの消費量も抑えられる。社内テストでは燃費も14・9%の改善を実証していますよ」と、開発部・部長の柴 光雄さんは話す。

自動車ライターの石川氏が、PBS.Sの性能を確かめるべく、実際にノーマル車とマフラー装着車のそれぞれに試乗してみた！

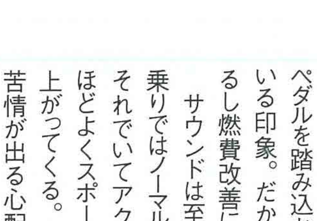
全域パフォーマンスアップの秀逸な走行性能

40 ALPHARD×VELLFIRE・PASION EVO（PBS.S搭載）LINE-UP

【ダブル出し（PAS-105シリーズ）】



■価格:7万7000円～8万8000円
■適合:ハイブリッド2WD（Z/Zプレミア）
■テール径:Φ105×70オーバル（右ダブル出し）



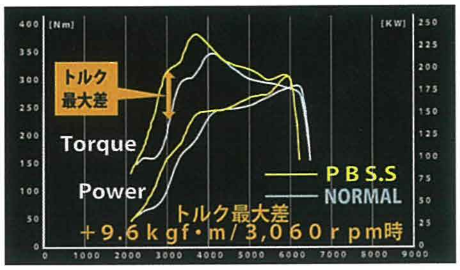
ポリッシュテール

チタニウム製ブルーテール

純正比DATA

パワー	+9.5ps
トルク	+2.2kgf·m（最大8.8kgf·m）
燃料改善率（ガナドール計測結果）	+14.3％UP

【4本出し（PAS-106シリーズ）】



■価格:16万5000円～18万7000円
■適合:ハイブリッド2WD（Z/Zプレミア）
■テール径:Φ105×70オーバル（左右4本出し）

ポリッシュテール

チタニウム製ブルーテール

純正比DATA

パワー	+13.7ps
トルク	+3.5kgf·m（最大+9.6kgf·m）
燃料改善率（ガナドール計測結果）	+14.9％UP

IMPRESSION

重量級の不満が解消され軽やかなフィーリングに

重量級ゆえに加速力に不満も出がちな新型アルヴェル。街中での発進加速や高速での追い越しなど、クルマの重さを感じるシチュエーションは多い。PBS・Sは効率を徹底追求した設計や独自のスパイラルフィン構造により、そうした不満を解消するという。ともあれ試乗開始だ。

まずは純正マフラー装着状態で試乗の後にPBS・Sに交換。市街地や高速道路でのフィーリングの違いを確かめる。まず驚いたのは発進加速のスムーズさ。まるで過給器を付けたかのように滑らかにトルクが立ち上がってくる。街乗りレベルでもペダルを踏み込む量は明らかに減っている印象。だからストレスなく走れるし燃費改善にも繋がるのだろう。

サウンドは至ってジェントルだ。街乗りではノーマルと変わらないくらい。それでいてアクセルを踏み込むと、ほどよくスポーティな排気音が盛り上がってくる。これなら同乗者から苦情が出る心配もない。

高速試乗でも確かな違いが確認できた。ノーマルとは中～高回転域の伸びが明らかに異なる。加速力が途切れず、グングンと車速が乗ってくる。回転の上昇と呼応して盛り上がってくるサウンドも素晴らしい。

環境性能への規制が年々厳しくなっている昨今、スポーツマフラーに出力向上を求めるのは難しいと囁かれてきた。しかしPBS・Sを体験すると、マフラー交換の目的はドレスアップだけでないと再認識させられる。愛車に入れる価値のある1本だ。

 問:株式会社マツ.ショウ ☎048-935-1130 https://ganador.co.jp